

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化予定箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業の概要

事業名	一般国道454号豊間内バイパス	事業区分	特殊改良	事業主体	青森県
起終点	自：青森県八戸市豊崎町 至：青森県三戸郡五戸町扇田	延長	3.3km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道454号は、八戸市を起点とし、秋田県を経由して南津軽郡大鰐町に至る、本県南部地方と津軽地方を東西に結ぶ主要な幹線道路であり、また十和田湖への観光ルートであるとともに新幹線開業（H14年12月1日）により八戸駅へのアクセス道路としての重要性が大きく増大した路線である。</p> <p>当工区はバイパス整備により交通量転換を図ることで道路沿線の安全性の確保、走行性の向上を目的とした3.3kmの2車線道路である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>当該区間は、人家連担部で道路幅員が狭く、線形不良のうえ歩道も設置されていないため、車両および歩行者双方が危険な状況にあることから、バイパス整備により通過交通の転換を図り、安全で円滑な交通の確保および走行性を向上させ、幹線道路としての機能確保を図るものである。</p> <p>また、本計画に隣接して、河川改修事業および圃場整備事業が平成18年4月までに新規事業採択されており、地域の推進体制も整っていることから土地の合理的利用を促進するため、関連事業の平成23年度完成に歩調を合わせた供用開始を行う予定である。</p>					
全体事業費	15億円	計画交通量	6,400台/日		
<p>事業概要図</p> <p>凡例 供用中 平成19年度新規事業化</p>					

関係する地方公共団体等の意見

豊間内地区を通過する国道454号は新幹線開業以来交通量が増加する一方で道路幅が狭く曲線が多く地域住民が交通事故の危険にさらされており、関連する河川改修事業、ほ場整備事業と合理的な土地利用を図りながらの一体的な整備の推進について五戸町から要望を受けている。（平成17年10月17日）

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。
 関連事業：地域の推進体制が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.1	総費用：16億円 （事業費：12億円 維持管理費：4億円）	総便益：50億円 （走行時間短縮便益：49億円 走行費用減少便益：1.2億円 交通事故減少便益：0億円）	基準年：平成18年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= - (交通量 - %)	B/C= - (交通量 - %)		
		事業費変動	B/C= - (事業費 - %)	B/C= - (事業費 - %)		
	事業期間変動	B/C= - (事業期間 - %)	B/C= - (事業期間 - %)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。 【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】 【渋滞度曲線】 【その他の特徴】		
		事故対策	-	注目すべき影響はない。 【死傷事故率】 (死傷事故率比（県内平均比）) (事故率曲線における位置：) 【その他の特徴】		
	社会全体への影響	歩行空間		データは県内平均・全国平均と比較すること 現道は通学路であるにもかかわらず歩道未整備であり、バイパスへの通過交通転換により、現道を利用する歩行者の安全性が向上する。（現道交通量 6,661台 700台）		
		住民生活		五戸町から新幹線八戸駅、八戸市民病院（3次救急医療施設）までのアクセスが向上する。 （五戸町役場～新幹線八戸駅 25分 23分） （五戸町役場～八戸市民病院 50分 48分）		
		地域経済		五戸町の特産品である長芋、にんにくの出荷時間の短縮 （五戸町農協～八戸市中央卸売市場 28分 26分）		
		災害		第1次緊急輸送ルートである国道104号の代替ルートとしての機能確保を図る。		
環境		-	注目すべき影響はない。			
地域社会		主要な観光地へのアクセス向上 新幹線八戸駅から十和田湖への所要時間短縮（90分 88分）				
事業実施環境		関連する圃場整備事業および河川改修事業とスケジュール調整がなされており、地域の推進体制も整っている。				

採択の理由

（この欄は採択理由を記載するスペースです）

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。